

西本 和照さん（山口県周防大島町出身）  
2015年度4次隊 青年海外協力隊  
派遣国：ザンビア 職種：番組制作  
2017年9月3日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

## 「ピースフル」誇らしげ

私は現在、アフリカ南部にあるザンビアに暮らしている。そこで「日本はどんな国だ」と聞かれることがある。私は悩んだ揚げ句、「アジアの東にある島国」としか答えられないでいる。せいぜい「人口が1億人ぐらいいる」を付け加えるぐらいだ。私は形容詞を使って国を形容することが自信を持ってできないでいる。

では、ザンビア人にザンビアはどんな国

かと聞くと、多くの人は口をそろえてこう答える。「Peaceful」だと。

ザンビアは周りの国と比べて経済的に発展しているわけでもない。いわゆる発展途上国と言われる国だ。東西南北全ての国境線を多くの国と共有しており、周りのアフリカ諸国の例にもれず多くの部族で構成され、70以上の部族と言語がある。国境を共にする隣国では内乱が頻発しているが、ザンビアでは1964年の独立以来一度も内乱が起こっておらず、安定した政治情勢が続いている。

昨年大統領選挙が行われ、二大政党が国を北と南で二分するような構図で争い、選挙後も遺恨を残し国が荒れるのではないかと思われていた。しかし、選挙から数日たつと何事もなかったかのようにいつもの日常に戻っていた。その様子を見て驚いていた私に同僚が誇らしげにあの言葉を言う。「ザンビア人はPeacefulだからね」と。

国をつくっているのは、人々が誇りに思い大切にしていることなのだと、ザンビアに来て感じている。



食品の加工方法を伝えるビデオの制作場面。こちらで生活支援のための教育ビデオを作っている。